

1章 トレーニングの前に

- 15 ページ スライド 標準 SQL への準拠
現在の最新バージョンである 9.2 では、SQL:2011 にも準拠しています。

2章 インストールと設定

- 5 ページ スライド share/contrib/ ディレクトリ
9.1 以降では、追加で提供されるモジュール群の管理を容易にする EXTENSION と呼ばれる概念が導入され、ディレクトリ名が share/contrib/ から share/extension/ に変更されました。
- 12 ページ スライド 今回の設定
設定パラメータの「silent_mode」は、9.2 で廃止されました。
silent_mode = on と同様の動作は、下記のコマンドで行います。

```
[postgres]$ pg_ctl start -l postmaster.log
```
- 15 ページ スライド createuser コマンド実行例
createuser コマンドのデフォルト動作が 9.2 で変更されました。プロンプトを表示する場合は、下記の通り --interactive オプションを指定する必要があります。

```
[postgres]$ createuser --interactive ユーザ名
```
- 19 ページ スライド トレーニングで使用する個人環境の設定
createuser コマンドのデフォルト動作が 9.2 で変更されました。データベース作成権限を付与するには、下記の通り -d オプションか、--interactive オプションを指定する必要があります。
-d オプションを指定すると、作成するデータベースユーザにデータベース作成権限を付与します。
--interactive オプションを指定すると、作成するデータベースユーザに対話モードで権限を付与できるようになります。

```
[postgres]$ createuser --interactive ユーザ名
```


もしくは、

```
[postgres]$ createuser -d ユーザ名
```

3章 基本的な SQL

- 1 ページ スライド 標準 SQL への準拠
現在の最新バージョンである 9.2 では、SQL:2011 にも準拠しています。
- 7 ページ スライド バックスラッシュコマンド
誤: \dp (\z) テーブル、ビュー、シーケンスデータ型の一覧
正: \dp (\z) テーブル、ビュー、シーケンスのアクセス権限一覧

- 19 ページ スライド COPY FROM の実行例

誤:

```
$ psql userDB postgres
userDB=# CREATE TABLE fruit_2
userDB=# (id INTEGER, name TEXT, price INTEGER);
userDB=# COPY fruit_2 FROM '/tmp/fruit.dat' (FORMAT CSV);
userDB=# SELECT * FROM fruit_3;
```

正:

```
$ psql userDB postgres
userDB=# CREATE TABLE fruit_2
userDB=# (id INTEGER, name TEXT, price INTEGER);
userDB=# COPY fruit_2 FROM '/tmp/fruit.dat' (FORMAT CSV);
userDB=# SELECT * FROM fruit_2;
```

- 24 ページ スライド スライド見出し

誤: 数値データ型(3)

正: 数値データ型(4)

- 29 ページ コラム エスケープ文字 9.1~

誤: また、文字列内のバックslash文字をそのまま扱うか否かを定めるパラメータ、`standard_conforming_strings` のデフォルトが `on` に変更され、エスケープ文字列構文 (`E'...'`) を使用しない通常の文字列内のバックslashは、デフォルトではエスケープ文字として扱われなくなったため注意が必要です。

正: また、文字列内のバックslash文字をそのまま扱うか否かを定めるパラメータ、`standard_conforming_strings` のデフォルトが `on` に変更され、エスケープ文字列構文 (`E'...'`) を使用しない通常の文字列内のバックslashは、デフォルトではエスケープ文字として扱われなくなったため注意が必要です。

5章 SELECT

- 6 ページ ノート GROUP BY と HAVING

誤: スライドの例では、商品とに売り上げ個数の合計を出しています。

正: スライドの例では、商品ごとに売り上げ個数の合計を出しています。

6章 トランザクション

- 21 ページ ノート SELECT FOR UPDATE が必要な例

誤:

```
UPDATE 口座 SET 残高 = 残高 - 50000;
(もし残高が 50000 未満なら残高不足通知)
```

正:

```
UPDATE 口座 SET 残高 = 残高 - 50000
WHERE 口座番号 = 123;
(もし残高が 50000 未満なら残高不足通知)
```

7章 関数

- 13 ページ ノート PL/pgSQL の宣言部

誤: 関数の引数は CREATE TABLE 文で指定した名前の変数に格納されます。

正: 関数の引数は CREATE FUNCTION 文で指定した名前の変数に格納されます。

8 章 運用管理基礎

- 32 ページ スライド Syslog を reload (restart でも可)

RHEL 6 / CentOS 6 では、syslog デーモンは syslogd の代わりに rsyslogd がデフォルトとなり、設定ファイルは /etc/rsyslog.conf に変更され、サービス名も rsyslog に変更されました。また、rsyslogd はバージョン 5 以降は、reload をサポートしていません。設定内容を反映させる場合は restart する必要があります。

10 章 付録

- 32 ページ スライド PostgreSQL Global Development Group

誤: 関連ニュー
正: 関連ニュース

2013-07-17